

# 日本国憲法

責任者・コーディネーター	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師		
担当講座・学科(分野)	人間科学科法学分野		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

## ・学習方針（講義概要等）

日本国憲法の全体像は、基本的人権と統治機構の2つに大別される。本科目では、日本国憲法の基礎的知識、とりわけ基本的人権の内容と意義、統治機構の基本原則と司法権・違憲審査制の理解を目的とする。基本概念・判例などの基礎的知識の獲得を大前提に、それらの知識を活用して、社会における多様な問題を、日常生活との関わりから捉え、憲法に関わる問題を独力で解き、自らの言葉で発言できる力を身に付ける。

## ・教育成果（アウトカム）

本講義では、日本国憲法の基本項目である、基本的人権の保障、国民主権、平和主義に関する基礎知識を修得することで、「看護対象者の尊厳と権利を擁護する能力」、「看護の内容について説明し同意を得る能力」を身につけられる。また、日本国憲法に関連する現行法に関する基礎知識を修得することで、「法的なものの見方（リーガルマインド）」と「法を知り使いこなす力（リーガルリテラシー）」を身につけられる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2

## ・到達目標（SBO）

### リーガルマインド

1. 基本的人権を理解することで、看護対象者の尊厳と権利を擁護することについて説明できる。
2. 統治機構を理解することで、日本国憲法とわが国の医療制度の関わりについて説明できる。
3. 日本国憲法と現行法の関わりから、法の全体像を把握し、定義および具体例を説明できる。
4. 法の基礎にある原理を理解し、広い視野から法を分析的に見ることができる。
5. 法の体系と社会の関係を考察し、基本的な法的思考を身につけ、活用することができる。

### リーガルリテラシー

1. 憲法を中心とした公法について説明できる。
2. 社会で遵守すべきことについて説明できる。
3. 社会のなかの法の役割について説明できる。

・ 授業日程

( 矢 ) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/15	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	憲法の基礎1 (憲法とは) ・ 憲法の本質について説明できる
9/29	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	憲法の基礎2 (日本国憲法) ・ 日本国憲法の成立とその基本原理について説明できる ・ 平和主義について説明できる
10/6	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権1 (人権総論) ・ 人権の意味と特徴について説明できる
10/13	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権2 (表現の自由) ・ 思想・良心の自由について説明できる ・ 表現の自由について説明できる
10/13	火	3	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権3 (信教の自由) ・ 信教の自由について説明できる ・ 政教分離について説明できる
10/20	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権4 (人身の自由) ・ 適正手続きについて説明できる
10/20	火	3	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権5 (経済的自由権) ・ 職業選択の自由について説明できる ・ 財産権の保障について説明できる

10/27	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権6（生存権） ・生存権について説明できる
11/2	月	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権7（包括的基本権） ・新しい人権について説明できる
11/2	月	3	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治1（統治総論・参政権） ・国民主権について説明できる ・参政権について説明できる
11/10	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治2（立法権） ・国会の役割について説明できる
11/17	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治3（行政権） ・議院内閣制について説明できる
11/24	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治4（司法権） ・司法権の独立について説明できる ・裁判制度について説明できる ・裁判員制度について説明できる
12/1	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治5（地方自治） ・地方自治について説明できる
12/8	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治6（憲法改正） ・憲法改正の仕組みについて説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	法学六法 20	池田真朗 他 編	信山社	2019
参	伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業	伊藤真	KADOKAWA	2017
推	プレステップ憲法 第2版	駒村圭吾 編	弘文堂	2018

・成績評価方法

評価は毎回の課題「論点プリント」(60%)と WebClass 上の2つの小テスト「事後確認テスト」「自由課題」(40%)によって行う。  
 なお、講義内で実施する Web 演習教材 Kahoot!は成績評価に含めない。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

WebClass による事前学修及び事後学修をそれぞれ 30 分程度行う必要がある。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出された課題は、評価をつけて返却する。

講義内で実施した Kahoot!の結果については WebClass 上で公表する。

WebClass 上の2つの小テストは自動で採点が行われる。

【その他】

講義には Web 演習教材 Kahoot!を実施するため PC またはスマートフォンを持参すること。

ブラウザのブックマークに <https://kahoot.it> を入れておくか、スマートフォンの場合、それぞれのアプリストアから Kahoot!をダウンロードしておくこと。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型パソコン (APPLE MC969J/A) ノート型パソコン (ASUS E203)	2	講義用スライド投影 Web 演習教材投影
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影 講義用資料投影 Web 演習教材投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影